

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 231

政策体系	14	事業分類	ソフト事業	所管部局	
会計	一般会計	科目	3. 民生費 - 1. 社会福 - 4. 高齢者 現年		
事業名	高齢者福祉サービス事業				
細事業名	外出支援サービス事業				
評価表作成者				市民福祉部 高齢福祉課	上西 奈穂

1. 事業の概要

一般の公共交通機関を利用することが困難な高齢者や心身に障がいがある方に対し、送迎用車両（リフト付等）を使用して、医療機関や福祉サービスの提供場所への送迎を行なう。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

高齢者や障がい者の方が、住み慣れた地域社会の中で、自立した生活を続けていくことを支援する事業である。

② 事業を実施する必要性

公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がい者の方にとって、医療機関等への送迎サービスは自立した在宅生活を送る上で、必要不可欠である。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	23,903	30,010	28,533	37,418	44,645	53,164	58,864
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	2,020	42	0	0
	国・府支出金	千円	0	2,432	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	36,300	0	0
	一般財源	千円	23,903	27,578	26,513	1,076	44,645	53,164
職員等の従事人員	人/年	—	0.30	0.20	0.20			
人件費	千円	—	1,975	1,099	1,120			
事業費総額	千円	—	31,985	29,632	38,538			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

(福)南丹市社会福祉協議会	33,447,231円 (委託料)
(財)南丹市福祉シルバー人材センター	3,934,139円 (委託料)
南丹市有償運送運営協議会委員報酬	36,500円 (報酬)

5. 事業結果の概要

(福)南丹市社会福祉協議会	利用件数	11,119件
(財)南丹市福祉シルバー人材センター	利用件数	2,204件
南丹市有償運送運営協議会	1回開催	(12月10日)

6. 活動の詳細

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

高齢者や障がい者の方が在宅での生活を継続するために必要な事業である。今後も、高齢者等の自立した生活を支援するため、移動手段の確保を行なう。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

高齢者や障がい者の方の在宅での生活を継続していただく上で必要な事業である。今後も高齢者等の自立と社会参加に対応するため、高齢者等の移動手段の確保を行なう。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
高齢者や障がい者のすべてが福祉サービスの対象者ではない。公共交通機関の充実を図ることにより、当該サービスとの住み分けを図る必要がある。誰もが安心な地域交通システムの構築が急がれる。
- ②当該事業のアピール事項：高齢者や障がい者の在宅生活にとって必要な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性
使用車両の老朽化に伴う定期的な車両更新。対象者の増加に伴う車両及びスタッフの確保。タクシーやバスの運賃に比べると非常に安価なため利用。